

冬こそ、夕方の時間の最大活用を
—受験生は、夕食前に2時間半の学習を—

塾長 林 明夫

Q：入学試験合格の秘訣は何ですか。

A：(林明夫：以下省略)受験の前日まで、学校から帰宅後、夕食前に2時間半の学習をし続けることです。

年末から新年になり、3学期に入ると、日の暮れるのも早まりますので、午後4時半頃には学校から帰宅できる日も増えてくると思います。

受験生なら誰でも、夕食後から床に就くまでの間に机に向かうと思いますが、夕食後の勉強だけでは合格に不安を抱く方が多いと思います。そこで、私は、夕食後から就寝までの受験勉強に加えて、夕方学校から帰宅後に行う、夕食前2時間半の学習を強くお勧めいたします。

Q：合格を果たしたければ、夕食後床に就くまで勉強するだけではなく、夕食前に2時間半の勉強をした方がよいということですね。

A：その通りです。受験生は、勉強することが「仕事」ですから、学校から帰宅後にTVやファミコン、携帯電話などに夢中になっているようでは、希望校合格はかないません。

Q：家ではあまりやる気にならないのですが。

A：夕食前の2時間半の学習が自宅ではどうしてもできないようでしたら、開倫塾の校長先生や担当の先生に相談して、開倫塾の自習室で勉強してください。

開倫塾では、授業で使用しない教室を自習室として無料で開放しています。ただし、自習室では「おしゃべりや飲食、携帯電話などは絶対禁止」です。学習内容については、先生が細かく指示をし確認までしますので、それに従って学習してください。自習室での休み時間は、先生の指示通りお取りください。

Q：それは有難いですね。

A：皆様の受験勉強を支え、サポートすることが、開倫塾の社会的使命(ミッション)ですので、受験の前日まで可能なかぎりのことはさせていただきます。

Q：夕食後、自分一人ではなかなか勉強が手につかなくて困っているのですが…。

A：そのような受験生は、夕食後も遠慮なく、開倫塾の自習室を利用してください。ただし、「おしゃべりや飲食、携帯電話など、勉強以外のことは絶対禁止」というルールは、必ず守ってくださいね。

夜の8時前から10時20分までの2時間半、開倫塾の自習室で真剣に学習することを、私は強くお勧めします。家で勉強できない受験生は、開倫塾の授業がある日は、授業終了後から10時20分まで開倫塾で勉強してください。

ただし、どんなことがあっても、夜の10時30分までには、一人残らず全員が帰宅してください。開倫塾では、「防犯上の理由」から、夜10時30分過ぎに塾生が開倫塾に居残ることを「絶対に」認めていません。夜10時20分になったら、全員が速やかに帰宅してください。

Q：ずいぶん厳しいですね。

A：当然です。ルールの中でプレイをするのは、スポーツも受験勉強も変わりません。受験生だから何をしても許されるということはありません。「自習室ではおしゃべりをしない」「どんなことがあっても、夜10時20分までには開倫塾から帰宅する」。

「他人に迷惑をかけない」「犯罪に巻き込まれない」ために、この2つのルールがあります。受験勉強を通じて「規範意識」や「防犯意識」を高めてもらいたい、このように開倫塾の先生方は希望しています。

Q：この時期に、何を勉強したらよいかかわからないのですが。

A：開倫塾では、基礎的な内容の復習が必要な人から、偏差値70以上の受験生にまで十分に対応できるよう、十分な教材が準備されています。開倫塾の校長先生や担当の先生と十分相談し、よく「納得」した上で、希望校合格のための「学習計画」を立ててもらい、また、それをチェックしてもらいながら、勉強を進めてください。

Q：最後に一言どうぞ。

A：かぜをひいたり、インフルエンザにかかったりしないように外から帰ったら、30秒のうがいと薬用石けんを使った2回の十分な手洗いを必ず実行してください。医師と相談の上、「インフルエンザの予防注射」をすることも強くお勧めします。インフルエンザにかかって高熱が出ると、1週間は勉強が手につかなくなるからです。

※受験生以外の塾生や保護者の皆様にはお願いです。開倫塾では、受験生が最後の追い込みを入試前日まで行いますので、どうか温かく見守って頂きたくお願いいたします。時々には受験生の真剣な勉強ぶりを見学し、自分が受験学年になるまでにどのような勉強をしたらよいかを考えることも大切です。

また、開倫塾の授業のない日や時間帯での、夕方からの自習室の利用や夜10時20分までの居残り学習は、受験学年以外の塾生の皆さんも大いに歓迎いたしますので、校長先生や担当の先生に相談してください。ただし、「おしゃべり絶対禁止」、「夜10時30分以降の居残り絶対禁止」は変わりませんので、御承知おきください。

※夜10時30分以降は家で一人静かに机に向かうことが、「自己学習能力の育成」の上からも大切と考えます。

以上

— 12月14日記 —